

2022 春闘速報

石狩地域2022春季生活闘争闘争委員会

2022年 4月 6日発 第10号 発行責任者 吉田賢一 Tel011-210-1212 Fax011-210-1213

粘り強い交渉の成果を報告！

「働きの価値に見合った賃金水準」めざし中堅・中小組合の健闘続く
～2022春季生活闘争 第3回回答集計について～

連合本部は、4月 1日（金）時点で取りまとめた賃上げ状況の第3回回答集計結果を発表しました。

- 平均賃金方式で回答を引き出した組合の加重平均は6,319円・2.11%（昨年同時期856円増・0.29ポイント増）で、うち300人未満中小組合の加重平均は5,125円・2.06%（同486円増・0.22ポイント増）となった。いずれも、第3回回答集計において率が2%を超えるのは2019闘争（2.15%・2.07%）以来3年ぶりである。賃上げ分が明確に分かる組合の賃上げ分は、全体および1,000人以上の組合で昨年同時期比マイナスになっているが、999人以下の組合はすべての規模区分で昨年同時期を上回っている。300人未満の中小組合は1,781円・0.71%（同484円増・0.19ポイント増）となり、第1回・第2回集計に続き額・率とも全体を上回っているが、これは賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降初めてである。先行組合が作り出した「賃上げの流れ」を中堅・中小組合がしっかりと引き継ぎ、「人への投資」と月例賃金にこだわり、「働きの価値に見合った賃金水準」を意識して粘り強い交渉を行った結果と受け止める。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げは、加重平均で賃上げ額は時給25.52円（同3.00円増）・月給5,584円（同1,092円増）、引上げ率は概算でそれぞれ2.48%・2.55%となり、一般組合員（平均賃金方式）を上回った。
- 長時間労働是正やすべての労働者の雇用安定、ジェンダー平等・多様性の推進実現に向けて数多くの取り組みがなされているが、とりわけ、60歳以降の雇用のあり方への対応や男性の育児休業取得促進に向けた取り組みでは、例年を超える要求・取組/回答・妥結件数となっている。

連合北海道は、4月 1日（金）時点で取りまとめた賃上げ状況の集計結果を発表しました。

- 妥結した集計可能組合は71組合・30,612人（昨年同時期比19組合増・5,801人増）。
- 月例賃金の加重平均は、5,457円・2.02%（同767円減・0.24ポイント減）となった。
- 有期・短時間労働者の賃上げ額は、加重平均で時給25.23円・2.58%、平均時給は1,005.85円となり、初めて1,000円を超えた。

【組合規模別賃上げ状況 2022年 4月 1日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ペア込み)	昨年実績額 (定昇・ペア込み)	昨年比
300人未満	48組合	4,273名	3,647円 (1.67%)	4,464円 (2.03%)	▲817円
300人以上	23組合	26,339名	5,733円 (2.06%)	6,422円 (2.28%)	▲689円
計	71組合	30,612名	5,457円 (2.02%)	6,224円 (2.26%)	▲767円

◎要求・回答・妥結情報を石狩地域2022春季生活闘争闘争委員会までお知らせください。
担当：光崎・田中（TEL：011-210-1212 FAX：011-210-1213）